

令和7年度第4回川崎市産業振興協議会・中小企業活性化専門部会 会 議 録

1 開催日時

令和8年2月3日（火）14時00分～16時30分

2 開催場所

川崎市役所本庁舎7階701会議室

3 出席者

(1) 委員（5名）

出口部会長代理（川崎市商店街連合会・青年部相談役）、増山委員（川崎商工会議所・副会頭）
田村委員（神奈川県情報サービス産業協会・川崎市交流委員会 副委員長）、佐藤委員（川崎
建設業協会・副会長）、大原委員（川崎市食品衛生協会）

(2) 朝比奈経済活性アドバイザー

(3) 事務局

経済労働局産業政策部長、企画課長、企画課 担当係長、企画課職員
観光・地域活力推進部観光プロモーション推進担当課長、地域活性化担当課長、
商業・サービス業振興担当課長
労働雇用部労政・働き方改革・生産性向上担当課長、雇用担当課長
都市農業振興センター農業振興課長、農地課長、農業技術支援センター所長

4 議題（公開）

- (1) 川崎市中心小企業活性化条例に基づく令和7年度の施策検証について
- (2) かわさき産業振興プラン（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

5 傍聴者

無し

6 会議の内容

産業政策部長

(令和7年度第4回川崎市産業振興協議会・中小企業活性化専門部会開会を宣言)

(会議公開や傍聴人の有無、会議成立を確認)

(遠山部会長が指名する出口委員が部会長代理となることを確認後、議事進行を出口部会長代理に依頼)

出口部会長代理

本日の施策検証の進め方について、事務局から説明をお願いしたい。

事務局

(資料に基づき説明)

出口部会長代理

事務局説明のとおり進める形で、早速検証作業を始めたい。

(資料に基づき検証作業を実施、検証内容については別紙にて報告)

(検証終了後)

出口部会長代理

本日の議題は以上。

(議事終了。議事進行を事務局に戻す。)

産業政策部長

長時間の御審議に感謝申し上げます。

報告書のとりまとめに向け、引続きの御協力をお願いしたい。

以上

令和7年度 中小企業活性化施策の実施状況に関する主な意見

(令和7年度第4回 川崎市産業振興協議会・中小企業活性化専門部会)

検証対象施策	川崎市産業振興協議会からの主な検証意見
第15条 経営基盤の強化及び小規模企業者の事情の考慮	
13 担い手育成・多様な連携推進事業 14 農業経営支援・研究事業 15 農業生産基盤維持・管理事業 16 援農ボランティア育成・活用事業	<ul style="list-style-type: none"> ・都市農業活性化フォーラムは、農業に対して関心のある事業者や一般の方などの参加が多く、逆に生産者の参加者が少ない。そのギャップを埋めるために、例えば事業者とうまく連携して商品化や、川崎の名産を使用した限定の推しメシを開催するなどしたら良いのではないかと。 ・民間の農業ベンチャーや明治大学農学部との連携をもっと進めていけると良いのではないかと。 ・川崎に多くのスポーツチームがあることを活かし、元アスリートの就農支援に取り組めると良いのではないかと。
第16条 地域の活性化の促進	
17 商業力強化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆浴場について、地ビールなど地域資源と連携し、地域交流を促進する場としての取組を進めてもよいのではないかと。 ・推しメシについて、地元のお店だけでなく市内全域の魅力的な店舗を知る機会となるよう、イベント後の情報発信も含め、広報をさらに強化しても良いのではないかと。
18 商店街活性化・まちづくり連動事業	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎市民まつりやみなど祭りなど南部で実施しているイベントについては北部(麻生・多摩)に周知されていない印象を受けるので、もう少しPRをお願いしたい。 ・商店街も役員の高齢化が進んでいるが、若い人にどんどんチャンスを与え、デジタルなども積極的に活用し、商店街を活性化させるなど、商店街に入ることのメリットを市も一緒になって考えていくことが必要ではないかと。 ・イベント等のソフト面の強化をお願いしたい。イベントの開催回数上げるだけでなく、例えば広報媒体として、イベントなどのまとめサイトも有効であるので、多くの媒体で取り上げられるようにしていただきたい。
19 農環境保全・活用事業 20 市民・「農」交流機会推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの頃から農業体験をもっと増やして、地産地消に対する知識を増やせれば良いのではないかと。 ・川崎の特産品と言えば多摩川梨だが、今流行っているもの、これから流行るものなどももっとPRしてもよいのではないかと。
21 観光振興事業 22 産業観光推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を入込観光客数から消費額にシフトしていった方が良いのではないかと。 ・産業観光についてお金をどのようにして落としてもらうか検討した方が良いのではないかと。 ・フィルムコミッションを活用しても良いのではないかと。

検証対象施策	川崎市産業振興協議会からの主な検証意見
第17条 人材の確保及び育成	
25 雇用労働対策・就業支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・就職等に役立つ技術・技能を若者が取得できるような支援制度があるかよいのではないかと。 ・就職マッチングイベントは人気なので、開催回数を増やすことや、製造業や建設業など専門業種ごとに分けて開催するのが良いのではないかと。 ・人材を獲得するための相談機関が多いので、一本化してほしい。 ・障害者が働ける場所をもっと押し出して行くのが良いのではないかと。 ・就職支援者の内訳について、女性や中高年等、属性を分けてそれぞれ目標を設定するのが良いのではないかと。 ・就労に関して民間企業との協力・連携して行くことが良いのではないかと。
27 生活文化会館の管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・PFI事業やネーミングライツなど活用するなど、立地も良く、企業も借りたい声が多くあるはずなので、収益を上げる取組を行って行けると良いのではないかと。
30 労働会館の管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺施設は予約がいっぱいで借りられず、大きさのミスマッチもあるので、比較的規模の小さな団体でも借りやすい施設にしてほしい。
第19条 受注機会の増大等	
	<ul style="list-style-type: none"> ・南北入札の制度自体はありがたいが、入札する業種で「塗装」の件数も多い印象を受けるので、今後増やして行けると良いのではないかと。 ・最低賃金に地域差があるように、工事の基準額も地域差を見込んで設定していただきたい。